

## 【林道事業（市町村事業） 再評価審議資料】

（岐阜県事業評価監視委員会運営要領第6に基づく審議）

○ 再評価対象箇所一覧表	・・・ p 1
○平成28年度 再評価実施箇所	
公共林道事業（道整備交付金）	・・・ p 2
4) 干日野～石徹白（郡上市）	・・・ p 4～19
5) 野原（揖斐川町）	・・・ p 20～31

平成28年度 再評価対象箇所一覧表 8月8日審議箇所  
 [郡上市、揖斐川町]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要			全体事業費			実施済み額			進捗率			経過年数 (H28.3現在)	政策との位置付け	関連事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化及び地元の意向	環境との調和への配慮事項	事業費縮減	費用対効果分析	対応方針(案)	特記事項
						全体事業量	実施済事業量	事業実施率	(百万円)			(%)														
									用地補償費	用地補償費	用地補償費	用地補償費	用地補償費	用地補償費												
									工事費等	工事費等	工事費等	工事費等	工事費等	工事費等												
4	公共林道事業 (道整備交付金)	干田野～石徹白	郡上市	H13	H33	L=8,060m	L=2,816m	34.9%	1,271	418	32.9%	15	新市建設計画	なし	森林施業の集約化、県内の木材関連施設が稼働事業早期完成を要望	間伐材や再生資材の活用	補強土壁工の適用	(1.5) 1.5	継続	開設区間は供用開始						
5	公共林道事業 (道整備交付金)	野原	揖斐川町	H18	H32	L=2,900m	L=891m	30.7%	700	244	34.9%	10	揖斐川町ふるさとの森づくり条例	なし	森林施業の集約化、県内の木材関連施設が稼働事業早期完成を要望	間伐材や再生資材の活用	現地発生土の利用	(-) 1.7	継続	開設区間は供用開始						

費用対効果分析:(-)は前回再評価時の投資効果率

平成28年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

郡上市、揖斐川町

○事業制度について	事業名	公共林道事業（道整備交付金）
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。</li> <li>・森林の持つ機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資することを目的とし、このための森林整備に直結する林道を整備する。</li> </ul>
	採択基準	<p>基幹道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が計画されていること。</p> <p>管理道、施業道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が計画されていること。</p>
	概要（メニュー）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林基幹道開設</li> <li>・森林管理道開設</li> <li>・森林施業道開設</li> </ul>
○費用対効果の分析について *費用便益 B/C*	うち貨幣換算する項目（B）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木材生産等便益                             <p>森林を健全に育成することによって、資源として蓄積された木材が伐期において生産・利用される便益並びに路網の整備によって木材生産等の経費が縮減される便益及び木材の生産・利用が増進される便益</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材生産等経費縮減便益                                     <p>林道整備により木材の搬出・輸送経費の縮減効果</p> </li> <li>・木材利用促進便益                                     <p>切り捨てとなっていた間伐材が林道整備により搬出・利用される効果</p> </li> <li>・木材生産確保・増進便益                                     <p>今まで伐採対象とならなかった森林において、林道整備により新たに伐採が促進され生産・利用される効果</p> </li> </ul> </li> <li>○森林整備経費縮減等便益                             <p>森林整備に係る作業経費、治山経費及び森林管理等経費の縮減や、路網整備により森林整備が促進される便益</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造林作業経費縮減便益                                     <p>林道整備により造林等作業員の歩行時間等の縮減効果</p> </li> <li>・森林管理等経費縮減便益                                     <p>林道整備により森林管理の巡視・普及指導を行う者の歩行時間縮減効果</p> </li> <li>・森林整備促進便益                                     <p>造林・保育が不十分となっていた森林が、林道整備により森林整備が行われることによる「水源かん養」「山地保全」「環境保全」の効果</p> </li> </ul> </li> </ul>
	その他項目	

費用 ≧ C ≦ の 算 定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋ 維持管理費 ＋ 森林整備費</li> <li>・単価の基準：評価を実施する年度</li> <li>・現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通）</li> <li>・評価対象期間は事業完了後40年間</li> </ul>
費用 便 益 比 の 基 準	費用便益比（B／C）が1.0以上

## 平成28年度 再評価実施箇所（附図）

〔郡上市〕

番 号	4	事 業 名 <small>（路線・河川名等）</small>	公共林道事業（道整備交付金） （干田野～石徹白）		
事業実施箇所	起点：郡上市白鳥町干田野 終点：郡上市白鳥町石徹白		事業主体	郡上市	
採択年度	平成13年度	完了予定年度	平成33年度		
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間が経過した時点で継続中の事業				
事業目的	<p>利用区域森林内（面積450ha、人工林率52%）の骨格となる幹線林道を開設することにより、森林の適正管理に資するとともに、県道314号線と接続することによる効率的な林業経営と適切な森林整備の促進を図る。</p>				
事業概要	<p>幅員 4.0m    全体計画延長 8,060m    全体事業費 1,271,000千円                  利用区域内森林面積 450ha    同蓄積 101,407m<sup>3</sup></p>				
概要図					

公共林道事業(道整備交付金)

森林管理道 干田野～石徹白線の再評価

郡上市 平成28年8月

# 郡上市の政策における位置付け

## ◇新市建設計画

第1期(平成16年度～平成25年度)

第2期(平成26年度～平成30年度)

- 健全で豊かな森林づくりの推進
  - ・木材生産対策の推進
- 木材生産活動の強化
  - ・効率的な施業体制の確立



路網整備の推進





# 事業の目的

- ・効率的な林業経営
- ・適正な森林整備
- ・間伐材等木材の搬出



# 利用区域内の森林状況

## 人工林内の年齢級分布

61年生以上  
18.0%

10年生以下  
2.4%

11~60年生  
79.6%

人工林(52%)

天然林(48%)

開設済区間

残計画区間

利用区域

北濃 10 km

1:23,598

# 森林施業の実績



■ 施業実施箇所

■ 人工林

■ 天然林

— 開設済区間

⋯ 残計画区間

# 森林施業の5ヶ年計画

終点



施業計画区域



人工林



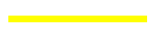
天然林



開設済区間



残計画区間



5年計画区間



作業道計画

起点

# 森林施業の計画



人工林8齡級以上



人工林



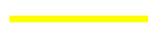
天然林



開設済区間



残計画区間



5年計画区間



作業道計画

# 費用対効果分析

## 事業の効果

- 森林整備経費縮減便益
  - 森林整備促進便益
  - 森林管理等経費縮減便益
  - 造林作業経費縮減便益
- 木材生産便益
  - 木材利用増進便益
  - 木材生産等経費縮減便益
  - 木材生産確保・増進便益

効果全体の86.4%

効果全体の13.6%

## 投資的效果

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.5 \quad \text{前回評価時 (H23年度) 1.5}$$

# 社会経済情勢の変化

## 森林資源の充実

- 利用可能な林分の増加により、施業の集約化を促進し、積極的に搬出することが求められるようになった

## 木材需要の増加

- 「森の合板工場（中津川市）」、「岐阜バイオマスパワー（瑞穂市）」の稼働および「長良川木材事業協同組合（郡上市白鳥町）」が新たに稼働したことによる県内広域に渡る木材需要の増加



路網整備を推進し森林整備・木材生産を実行

# 関係者の意向

- ・ 適切な森林整備の促進・森林施業の省力化
- ・ 集落間を結ぶ非常時用の迂回路



早期完成を強く要望



# 事業の進捗状況

## 進捗状況(延長)

全体延長	8,060m
実施済	2,816m(内 舗装2,163m)
残計画	5,244m(内 " 5,897m)
進捗率	34.9%

## 進捗状況(事業費)

総額	1,271,000千円
実施済	418,009千円
残計画	852,991千円
進捗率	32.9%

全体計画延長 L=8,060m

施工済延長 L=2816m

終点

起点

- 開設済区間
- ..... 残計画区間
- 利用区域

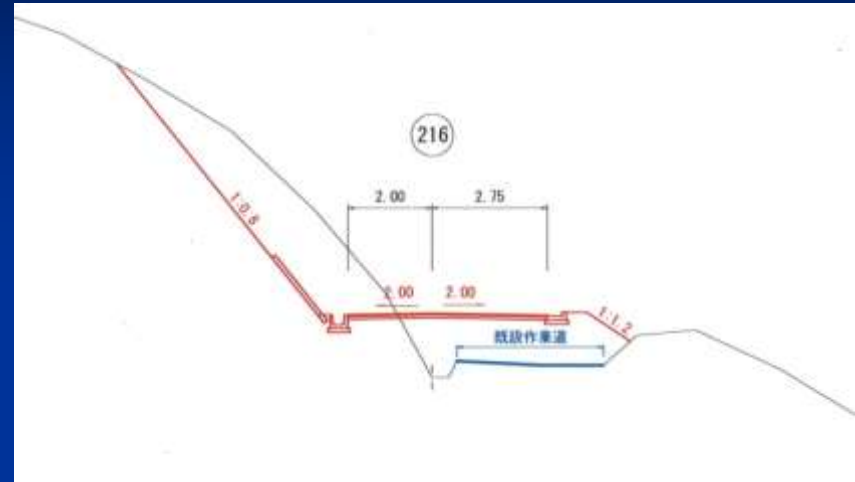
# コスト縮減に対する取り組み



補強土壁工



プレキャストL型擁壁工



## コスト縮減への取り組み

- 既設作業道の利用  
(土工量、構造物費用の軽減)



縮減額 190百万円

# 環境に配慮した取り組み

## － 間伐材の利用 －



木 柵 工



木 伏 工

## 対応方針（案）

- 間伐材の搬出を促進し、適切な森林整備を図る必要がある
- 今後主体となる主伐に対応するため、林内路網の充実を図る必要がある
- 森林所有者や住民から早期完成の要望がある




継続して事業を実施することが妥当

# 平成28年度 再評価実施箇所（附図）

[揖斐川町]

番 号	5	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業 (道整備交付金) (野原)
事業実施箇所	起点：揖斐川町春日六合地内 終点：揖斐川町春日六合地内	事業主体	揖斐川町
採択年度	平成18年度	完了予定年度	平成32年度
再評価の実施基準	事業着手年度から10年間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	揖斐川町春日六合地内670haの森林において、林道を開設することにより、森林資源の適正管理や林業生産活動の推進を図る。		
事業概要	幅員 W=3.0m、 全体計画延長 2,900m、 全体事業費 700,000千円 利用区域森林面積 670ha 、 同蓄積 106,369m <sup>3</sup>		
概要図	<p>概要図は、地形図上に計画された林道ルートを示しています。黄色い実線が利用区域の境界を示し、全体計画延長は2,900mです。ルートは「残計画 L=2,009m W=3.0m」と「道整備 L=891m W=3.0m」の2つの区間に分割されています。起点と終点は春日六合地内に位置しています。図には「完成区間(舗装済)」、「完成区間(未舗装)」、「未完成区間」、「利用区域」の凡例が記載されています。また、2枚の写真が林道の現状を示し、右側には方位磁針が示されています。</p>		



# 道整備交付金事業 林道野原線の再評価

揖斐川町

平成28年8月

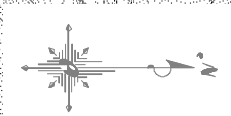
# ◇揖斐川町ふるさとの森づくり条例 (平成27年10月11日制定)

## 基本理念

- 多面的機能を発揮する森づくり
- 森林資源の循環利用が可能な森づくり
- 地域や企業が一体となった協働の森づくり
- 森づくりを支える人づくり

# 位置図及び事業概要

- 完成区間
- - 未完成区間
- 利用区域



全体計画延長 L=2,900m

残計画 L=2,009m W=4.0m

道整備 L=891m W=4.0m

終点

起点

かすが  
モリモリ村

事業期間 : 平成18年度～平成32年度  
(15年間)

事業費 : 700百万円

事業内容 : 延長 2,900m  
幅員 4.0m

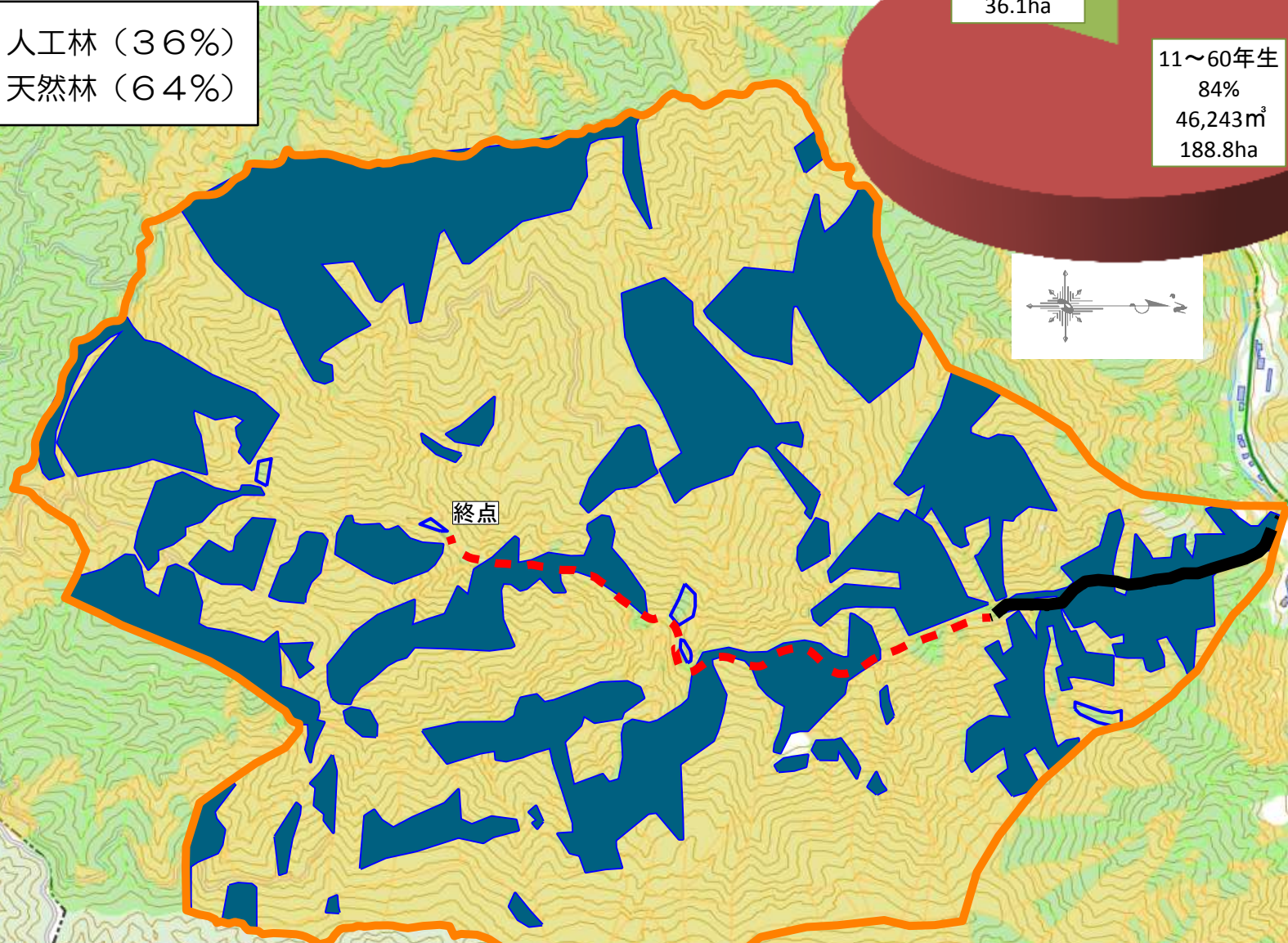
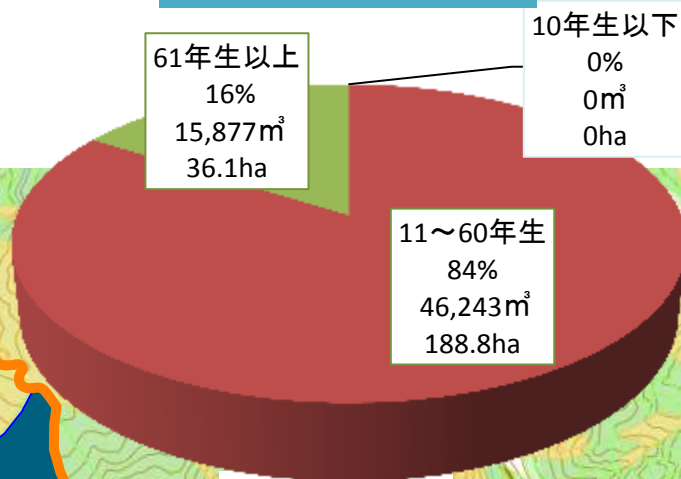
利用区域面積 : 670ha




# 利用区域内の森林現況

人工林 (36%)  
天然林 (64%)

## 人工林内の年齢級分布




# 森林整備の実績


 間伐等施業地

(224.9ha 人工林面積の40%)

(H18~H27 間伐実績 90.3ha)

 完成区間

 計画区間

 利用区域

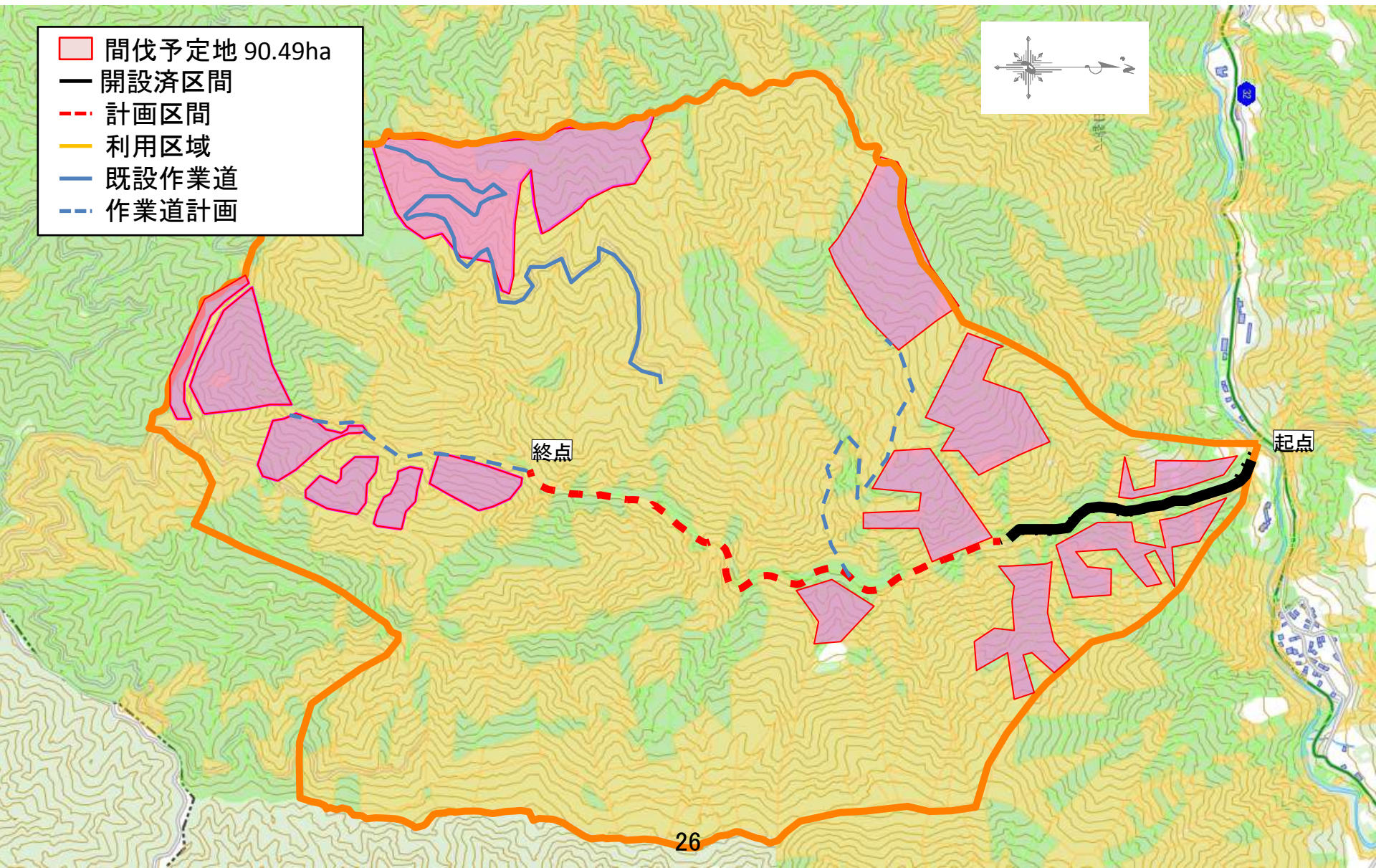


終点

起点

# 森林整備の計画

- 間伐予定地 90.49ha
- 開設済区間
- 計画区間
- 利用区域
- 既設作業道
- 作業道計画



# 費用対効果の分析

## 事業の効果

- 森林整備経費縮減便益 81.7%
- 木材生産便益 18.3%

## 投資的效果率

$$\frac{\text{総便益}}{\text{総費用}} = 1.7 \quad \left[ \text{当初 (H17年度)} \right. \\ \left. 1.6 \right]$$



## 社会経済情勢の変化

- 「地球温暖化対策実行計画」の策定（平成23年6月）  
CO2の吸収源としての森林整備を計画的に実施
- 「森林経営計画」制度の開始（平成24年4月）  
一体的なまとまりを持った森林において、路網整備を進め、効率的な森林施業を実施
- 「いび森林資源活用センター」の設立（平成21年12月）  
森林整備や木材利用の促進
- 「農山漁村再生可能エネルギー法」の施行（平成26年5月）  
町内温泉施設（3箇所）に木質ペレットボイラーを導入

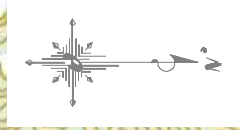


**路網整備を推進し森林整備・木材生産を実行**

# 事業の進捗状況

残計画  
L=2009m

実施済  
L=891m



終点

青日振興事務所

起点

かすがモリモリ村

全体計画延長  L=2,900m

実施済延長  L=891m

残計画延長 L=2,009m

進捗率(延長) 30.7%

全体事業費	700百万円
実施済額	244百万円
残事業費	456百万円
進捗率	34.9%

# 環境への配慮・コスト縮減



## 環境への配慮

- 間伐材を利用した工法採用
- リサイクル製品の採用



## コスト縮減への取り組み

- 現地発生土の再利用  
⇒縮減額 654千円

## 対応方針(案)

- 間伐等の森林整備を促進し、木材の搬出・利用を推進する必要がある。
- 地元関係者は事業の継続・早期完成を、強く要望している。

継続して事業を実施することが妥当